

技術展示



注目技術賞審査委員長
大塚俊介

[近畿地方整備局企画部長]

建設技術展近畿では毎年多くの建設技術が展示され、1万4000人以上の方々がお来場されるなど、我が国を代表する建設技術展として発展してきており、最近では、東日本大震災や紀伊半島大水害などを契機に防災・減災のための技術の展示が増加している。こうした技術は災害の見本市とでも言うべき我が国において開発されてきたものであり、2012年10月に東北地方で開催された世界銀行・IMF総会において、世界の持続的発展に向けて防災対策・減災対策の重要性が強く強調されていることを踏まえると、これらの技術をパッケージとして関係国に移転していくことが、平和な国際社会の建設に大きく貢献するものであると確信している。

言うまでもなく、建設技術は社会の持続的な発展を支える社会的技術であり、その発展なくしては、社会の持続的な発展はあり得ないのである。今回、注目技術賞、審査委員特別賞に選ばれた展示は、その適用範囲や特徴は異なるものの、我が国の建設産業、引いては社会の持続的な発展に大きく貢献していく技術であり、今後の飛躍が楽しみなものばかりである。また、ベストブース賞は昨年に引き続いて、鉄筋を組み立て、接合する技術の展示が選ばれているが、建設技術を支えるこうした技能者の力も、持続的な社会の発展を支えるためには必要不可欠であり、その趣旨も踏まえて選定されたものである。今後も、建設技術展近畿の開催を通じて、持続的な社会の発展を支える建設技術が広く紹介され、磨かれていくことを切に期待するものである。

注目技術賞

日本ヒルティ(株)

マルチアンテナを採用したレーダ探査機 X-Scan PS 1000

レーダー技術で、鉄筋、塩ビ管、電線ケーブル、PC鋼線などの埋設物を探査します。独自の技術で一般的な生データを誰でも見られるデータに加工。平面図と断面図、3D(三次元回転)で表示することで簡単に埋設物位置とかぶり厚さが確認できます。また、3つのアンテナ(マルチアンテナ)を搭載することで広範囲で精度の高い探査が可能です。探査終了後、内臓モニターですぐに結果を確認できます。



Tel 0120-66-1159 <http://www.hilti.co.jp>

注目技術賞

KEYTEC(株)

ストラクチャスキャンSIR-EZ/EZHR

コンクリート構造物内の密集鉄筋や配管・空洞・PC鋼材等の位置と深さを正確に探査可能です。「高性能」「優れた操作性」「将来性」で、2D断面・3D可視化(擬似X線表示)もスピーディに表示可能。多重反射波が極めて少なく、複雑な画像処理は一切不要。自動深度補正、自動感動調整が標準装備、加算平均処理機能で1cm当たり64波のバルスを高速演算処理、ノイズ抑制と弱い信号を理想的に増幅しリアルタイムに画面表示します。最大の特徴は、ソフトウェアで装置の「性能・機能」を自由自在に無償バージョン・アップ、いつまでも最新装置でお使い頂けます。(一部有償ソフト有り)



ストラクチャスキャンSIR-EZ(オレンジ) SIR-EZHR(ブルー)

Tel 06-6151-9169 <http://www.key-t.co.jp/>

注目技術賞

展示された技術の中から、「技術の先進性」、「効果」、「活用性」の観点から公共事業の事業主体者が審査選定した「注目すべき技術」に贈られます。

審査委員特別賞

審査員による投票で、注目技術賞に選ばれなかったものの、技術の独創性やアイデア、先進性など今後、期待される技術について、審査委員会が特別に推薦したものに贈られます。

ベストブース賞

一般来場者に最も関心の高かったブースに投票していただき、得票数が最も多かったブースに贈られます。

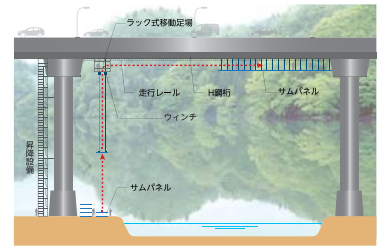


審査委員特別賞

エスアールジータカミヤ(株)

移動式吊足場システム「サムスライド」

サムスライドは「安全・作業環境改善・省力化・工期短縮」を解決する移動式吊足場システムです。機械による大型パネルの搬送により従来工法の問題点(スラブ下の諸条件)にも安全に対応できる工法です。【特長】①吊足場架設の機械化——大型パネル(1m×8m)を機械で搬送し吊足場を効率的に架設する工法です。②機械化により安全・作業環境改善・省力・工期短縮を実現——従来工法と比較して人力作業を低減させ危険作業から解放させます。③スラブ下の諸条件に左右されないで施工可能——従来工法では難しいとされていた施工条件をクリアし、行程管理を確実に実行できます。



概念図

Tel 06-6375-8818 <http://www.srg.jp/>

ベストブース賞

関西鉄筋工業協同組合 近畿建設躯体工業協同組合 日本プラスチック型枠工業会

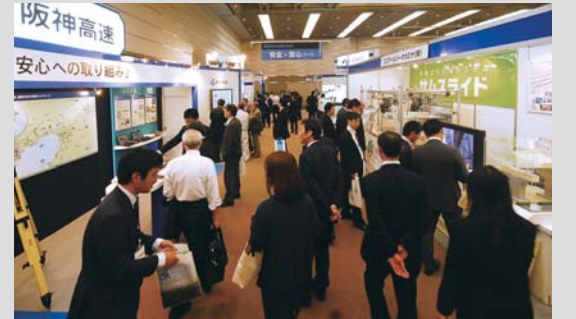
今回の共同出展ではそれぞれの技術を持ち寄り、「目に見える品質確保」をご来場の皆様に提案したいと考えました。展示ブースではプラスチック型枠の製品を出展するとともに、鉄筋工と型枠工による優れたプロの職人技を披露し、共に「品質の高さ」をアピールして多くの来場者から注目を集めました。その結果としてベストブース賞に選ばれたことは我々にとって光栄であり、また大きな喜びでもあります。



Tel 06-6946-2137 <http://kantetu.com>

出展者名 50音順

防災	安全・安心	施工
㈱アスコ KTB協会/PCフレーム協会 ㈱鴻池組 国際航業(株) 笹嶋工業(株) Geo BANK 工法研究会 ㈱シビル ㈱ダイカ 中央開発(株) 長繊維緑化協会 近畿支部 東洋建設(株) ㈱トクト 飛鳥建設(株) 日本工管(株) ハイジュールネット工法研究会 パシフィックコンサルタンツ(株) ㈱不動テトラ/日特建設(株) 前田建設工業(株) 明治コンサルタント(株) 矢作建設グループ ライト工業(株)	㈱アイティエス/日東建設(株) アジア航測(株) ㈱石川建設 いであ(株) HBC-radiomatic Japan(株) エスアールジータカミヤ(株) On Site Visualization 研究会 ㈱ガイアートT-K KEYTEC(株) 倉敷紡績(株) コトウコンクリート(株) 清水建設(株) ㈱住軽日軽エンジニアリング ㈱仙台銘板 大成ロテック(株) 関西支社 ㈱竹中土木 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株) 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株) 西尾レントオール(株) 西日本高速道路(株) 関西支社 西日本高速道路 エンジニアリング関西(株) 西日本高速道路 エンジニアリング九州(株) 西日本高速道路 エンジニアリング中国(株) 西日本高速道路 ファシリティーズ(株) 西日本高速道路 メンテナンス関西(株) 西日本高速道路 メンテナンス九州(株) 西日本高速道路 メンテナンス中国(株) ㈱NIPPO ㈱バスコ 阪神高速道路(株)/阪神高速道路管理技術センター/阪神高速技術(株)/阪神高速技術(株) ㈱日立国際電気/日立電線(株) 復建調査設計(株) ㈱保全工学研究所 丸連建設(株)	大成建設(株) 太平洋セメント(株)/太平洋マテリアル(株) 高橋土建(株) (ネブラス工法研究会) 電気化学工業(株) 東亜建設工業(株) 東亜道路工業(株) ストリートプリント工業会 近畿支部 西松建設(株) 日本SPR工法協会・関西支部 日本砕石地盤改良協会 日本ヒルティ(株) ㈱間組 ㈱ビーエス三菱 PC-躯体工業会 ヒートロック工業(株) 本州四国連絡高速道路(株)/ エンジニアリング(株) 三井住友建設(株)
環境	IT・ロボット	団体
内田産業(株) ㈱オーク 大阪ベントナイト事業協同組合/㈱オージーロード 大林道路(株) 大阪支店 ㈱奥村組 建設副産物リサイクル広報推進会議/建設副産物対策近畿地方連絡協議会 国土環境緑化協会連合会 ㈱コトー/㈱奥野組 鈴木産業(株) スバル興業(株)/ ㈱レンタルのニッケン 星和電機(株) ㈱竹中道路 一般社団法人 泥土リサイクル協会/UR都市機構 西日本支社 東急建設(株) 戸田建設(株) 中林建設(株)/ ㈱国土再生研究所 日本道路(株) フジモリ産業(株) フリーフレーム協会 近畿支部 ボンテラン工法研究会 前田道路(株) レコサール工業会	スマートウェイ 近畿地方協議会 中央復建コンサルタンツ(株) ㈱ニュージェック	㈱近畿建設協会 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 近畿支部 一般財団法人 建設物価調査会 国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所 一般社団法人 日本橋梁建設協会 一般社団法人 日本建設機械 施工協会 関西支部 一般財団法人 日本建設情報総合センター ㈱プレストレスト・コンクリート 建設業協会 関西支部
学校		
アストン協会 アンダーバス技術協会 ㈱ウィズエポ AT工法研究会 大浦工測(株) ㈱大林組 鹿島建設(株) ㈱加藤建設 関西鉄筋工業協同組合 関西鉄筋工業協同組合/ 近畿建設躯体工業協同組合/ 日本プラスチック型枠工業会 X-jet(クロスジェット)協会 計測ネットサービス(株) ケミカルグラウト(株) 五洋建設(株) 山陽(株) Superjet 研究会 一般社団法人 セイフティーフラット工法協会	大阪市立都島工業高等学校 京都市立伏見工業高等学校 神戸市立工業高等専門学校 国立明石工業高等専門学校 国立舞鶴工業高等専門学校 和歌山県立 和歌山工業高等学校 大阪工業大学 関西橋梁維持管理大学 コンソーシアム 関西大学 京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 京都大学大学院 工学研究科 都市社会学専攻 神戸大学 神戸大学大学院 摂南大学	



審査委員特別賞

㈱奥村組

奥村組の水処理技術

私たちの身近にある「水」は、利用目的に応じて「水処理」され、「水質改善」されています。しかし、従来方式の水処理では、導入時コストのほか、薬品費や産業廃棄物処分費等のランニングコストの増大が課題となっています。

奥村組は、水処理技術として、地下水の除鉄技術(日本海水との共同開発)と工場排水のカルシウム除去技術(日本海水、新日本製鉄との共同開発)を保有しています。両技術は、従来方式よりランニングコストを低減し、地球環境に優しいといった特徴があります。



生物接触ろ過方式と晶析法を併用した水処理プラント

Tel 06-6625-3755 <http://www.okumuragumi.co.jp>

審査委員特別賞

㈱石川建設

アステープ

全国の道路や工場敷地などのアスファルト舗装は、数年経つと劣化が進み、必ずその表面を補修する工事(オーバーレイ)が必要になる。現在のオーバーレイ工法は、接着剤としてストレートアスファルトを溶解する際に火気を扱う為火事や火傷の危険が伴う上、ストレートアスファルトを溶解する作業時間を必要としている。これらの問題を改善するのが「アステープ」。火気を全く扱わない為火事や火傷などの火災作業を廃止できる。更には、溶解時間が無くなる事により施工時間の短縮を実現でき渋滞緩和にもつながる。



アステープ

Tel 075-641-2384 <http://www.ishikawakensetsu.jp/>